

は何十年もの間、短時間で手術するにはどうしたらよいかを考えながら手術に臨んできました。人工関節の手術ならだいたい四十五〜五十分くらいです。輸血も行わず、患者の出血した血液をろ過して返血することで対応しています。

**藤井** 通常は一時間半〜二時間はかかりますよね。ものすごいスピード。

**深澤** 首から手先までさまざまな部位も経験しましたし、帝王切開をはじめ妻の手術も随分手伝いましたから。そのたまものですかね。

年をとると新しい術式・機器におっくうになりがちですが、僕はそんなことないんです。向上心が無ければ進歩しませんから。手術を苦痛と思つたことはないですね。

### ● オーストラリアの星空に感動

**藤井** 医師を目指された理由は？

**深澤** 進路には随分と悩みました。本当は飛行機のパイロットか天文学者になりたかったんです。今でも飛行機が離着陸する時はワクワクしますね。

でも一生の仕事とするなら、病気やケガを治して命を救う医師ほど素晴らしいものはないと思つて決断しました。大学に合格した

時、父が大変喜んでいた姿が印象的でした。  
**藤井** 天文学への興味は？

**深澤** 高校生の時、望遠鏡を持っている人が近所において、のぞかせてもらったんです。土星の輪が見えた時は感動しましたね。天文学は夢があつてとても楽しいですよ。

**藤井** 北海道でも札幌から少し離れると、きれいな星空を見ることが出来ますね。

**深澤** 五〜六年前に家族でオーストラリアを訪れた時のことです。肉眼で天の川、赤い光



思い出のオープンリールテープ

を放ちながらゆっくり動く人工衛星が確認できたのには驚きました。水蒸気とチリの少ない南半球は、北半球とは見え方が全然違うんです。  
**藤井** 先生はロマンチストですね。

### ● 土いじりがリフレッシュの秘訣

**藤井** ご趣味は土いじりだそうですが、作業ズボンに長靴ですか？(笑)。

**深澤** 医師になつてからはマンション暮らしだったので、庭のある生活に憧れていました。実家の庭が広がったのと、母親が北村の農家出身でしたから。病院の近くに家を建ててから私の園芸物語がスタートしました(笑)。今ではブドウ・リンゴ・サクランボ・ナシ・プラムなどでにぎわっていますよ。

愛情をかけて育てた作物の味は格別です。特に枝豆は絶品！市販されているものとは全然違う。夏の暑い日にビールを飲みながら食べるのが至福の時です。

**藤井** 先生はゴルフもお好きだそうで。

**深澤** ゴルフの思い出といえば、平成五年六月二十四日、札幌ゴルフクラブ・朝里コース十七番ホールでのホールインワンですね。

その数日前にホームコースでホールインワン保険に入ろうとしていたのですが、担当者が不在で加入できなかつたんです。今思えば何か予感が働いていたのかもしれないね。保険に入っていないのにホールインワンしちゃつたものだから… すごい出費でしたよ(笑)。

## インタビューを終えて

### 万年青年

常任理事

藤井 美穂

新しいことに挑戦し続ける先生は、まさに「万年青年」。  
「美年齢よりお若く見えますね」と伝えると、「新しいことにチャレンジする時はワクワクする。いろいろなことに前向きに一生懸命に取り組みたい」とのパワフルな回答。元気をたくさん分けていただきました。

●過酷だった子育ても良い思い出

藤井 深澤先生はおおらかな雰囲気をお持ちですね。もっと厳しい方かと思っていました。

深澤 それは藤井先生が私の奥さん(けい子氏・ふかざわ病院副院長)を知っているからです。うちの奥さんは厳しいから(笑)。

私のモットーは「人に優しく」。横柄な態度をとる人は嫌いです。公務員から転身し、祖父母が経営する商店を継いだ父の姿を見ていたからかな。父は頭を下げるのが下手で、武士の商法というんでしょうか、私から見るとちよつと…。藤井 ご夫婦とも激務の医師であれば子育ては



生年月日 昭和23年1月22日  
出生地 岩見沢市  
出身大学 弘前大学 昭和48年卒  
好きな言葉 整形外科  
虚心坦懐

大変だったでしょう？

深澤 娘一人ですが大変でしたね。当時は医師夫婦の子どもを入れてくれる保育園がありませんでしたから。私達はたまたま、義妹が手伝ってくれたり、知り合いが預かってくれるなど周囲の協力が得られました。日本の福祉の貧しさを感じました。

当時、私は北大、妻は天使病院に勤務していました。子どもを預け、妻を送ってからの出勤は、いつも遅刻ギリギリ。妻が当直の時は、私がオムツ交換、離乳食などを担当していたことが懐かしく思い出されます。藤井 素晴らしい。感動しました！

●飽くなき向上心が手技を高める

藤井 先生は長くてきれいな指をしておっしゃる。理想的な外科医の手ですね。

深澤 この指の長さがウッドベア

スを演奏するのにピッタリなんです。このほかマンドリン、エレキギター、ベースギターなどさまざまな楽器を演奏しました。大学時代にはMJQ (Modern Jazz Quartet) をもじったMCQというバンドを結成。昭和四十六年のヤマハ・ラ

イト・ミュージック・コンテストのジャズ部門では東北代表に選ばれました。

弘前の「み

すず」というジャズ喫茶でケイ赤木(ジャズピアニスト、マイルス・デイビスなどのバンドメンバーとして活躍)と

演奏したことも忘れられない思い出です。その時の様子を録音したオープンリールテープがあるので、これは僕の宝物ですね。

藤井 凄い！ お宝ですね。今でも演奏したくてウズウズされますか？

深澤 演奏したいけど、手術があるのであきらめました。弦で手が切れたり、血豆ができるとう手術に差し障りがありますからね。

藤井 先生のご専門は、股関節と人工関節ですね。年間の手術数は？

深澤 百七十〜百八十例くらいでしょうか。僕



ホールインワン記念のテレホンカード